

クラウドサービス増加に伴い複雑化されるIDを一元管理

# ビジネスにストレスを 与えないID管理を実現

# はじめに

## クラウドサービスの利用増加に伴い見直される「ID管理」

リモートワークの普及などにより、クラウドサービスの利用が急増しました。そこで注目されるのがID管理の重要性です。

企業は一つのクラウドサービスを使っているわけではありません。通常は複数のサービスを使い分けています。加えて、テレワークの普及でクラウドサービスのユーザー数も増えています。その結果、ID管理は複雑化し、セキュリティ面も考慮しなければならなくなっています。従来の「ID管理」では不十分になっているのです。

今回、ユーザーの利便性が向上に加えて、管理者の負担軽減やコストカットにつながり、抱えていた課題を解決させた、新しいID管理システム「Exiticの導入事例」を紹介いたします。

Exitic は、SSO（シングルサインオン）とID管理を兼ね備えた、日本製のクラウド認証基盤です。これを組織内でどう生かし、組織の人的リソースを最適化するか、ぜひ参考にしてみてください。

# INDEX

<b>はじめに</b>	1
クラウドサービスの利用増加に伴い見直される「ID管理」	
<b>1. 導入の背景</b>	
課題：クラウドサービスとユーザーの増加で、ID管理が追いつかない	4
課題1：クラウドサービスとID管理が別システムで同期をとる必要があった	5
課題2：ID同期にプログラム知識が必要	6
<b>2. Extic が選ばれた理由</b>	
企業の負担を最小化する、最新のID管理システム	8
メリット1：認証機能など求める機能がすべて備わっている	9
メリット2：既存システム、新規導入サービスとの連携が可能	10
メリット3：属人性を排除し、情シスの負担を低減	11
<b>3. 導入の効果</b>	
効果1：パスワードの変更がどこでも可能に	13
効果2：IDの登録・管理作業が軽減	14
効果ビフォーアフター	15
<b>おわりに</b>	16
ID管理システム一元管理化がもたらす効果	
<b>企業情報</b>	